

事 務 連 絡
平成 28 年 3 月 25 日

(一社)富山県建設業協会会長 殿

富 山 県 土 木 部
建設技術企画課長

アスファルト舗装の現場密度の測定等における維持工事の取り扱いについて

平成 28 年 1 月 7 日付け「アスファルト舗装の現場密度の測定等について」において、それまで明示していた「維持工事を除く」という表現を削除しましたが、維持工事について下記のとおり取り扱うこととしましたので、参考までに送付します。

なお、貴協会会員に対する周知について、ご配慮願います。

記

維持的な工種と解される「オーバーレイ」「部分舗装」等を、それ以外の工種と区別し維持工事としている事例がありましたが、工種による区別は行わず、全ての工種について品質管理基準に準じて測定することとする。平成 28 年 4 月 1 日以降に作成する設計書から適用する。

なお、別紙 2 に合計面積と測定個数の具体例を示す。

事務担当 技術指導係

建 技 第 520 号
平成 28 年 1 月 7 日

部内各所属長 殿

建設技術企画課長

アスファルト舗装等の現場密度の測定について（通知）

このことについては、平成 25 年 10 月品質管理基準の改定において見直したところであるが、今回、本県土木部の舗装工事の規模に鑑み、別紙のとおり品質管理基準を一部改定したので通知します。

（適用年月日）

平成 28 年 1 月 15 日以降に作成する設計書から適用する

（事務担当 技術指導係）

品質管理基準（アスファルト舗装等の現場密度の測定）の改定について

工種	現行（H25.10）	改定案（H28.1）※
アスファルト舗装	・1 工事あたり 3,000 m²を超える場合は、10,000 m²以下を 1 ロットとし、1 ロットあたり 10 個（10 孔）で測定する。 ・100m² 未満の工事については、監督員の指示がある場合を除き、省略可能とする。 （例） 3,001～10,000 m²：10 個 10,001 m²以上の場合、10,000 m²毎に 10 個追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば 12,000 m²の場合：6,000 m²/1 ロット毎に 10 個、合計 20 個 なお、1 工事あたり 3,000 m²以下の場合（維持工事を除く）は、1 工事あたり 3 個（3 孔）以上で測定する。	・<u>1,000m²につき 1 個（1 孔）で測定する。</u> ・<u>ただし 1 工事あたり 3 個（3 孔）以上。</u> ・100m² 未満の工事については、監督員の指示がある場合を除き、省略可能とする。

※下層路盤をはじめとする 8 工種についても同様

県品質管理基準（試験基準）の改定内容（案）

1) アスファルト舗装の現場密度の測定について

- ・現在、1 工事あたり 3,000m² を超える場合は、10,000 m²以下を 1 ロットとし、1 ロットあたり 10 個（10 孔）で測定することとしているが、「舗装設計施工指針 平成 18 年 2 月 社）日本道路協会」において、品質の標準的な検査方法として示されている 1,000m²につき 1 個の割合に見直す。
- ・また、統計処理上の理由（3 個以上で平均）から、1 工事あたり 3 個（3 孔）以上の測定については変更せず、「（維持工事は除く）」という表現は削除する。
- ・100m² 未満の工事については現行通り。

2) 対象工種について

アスファルト舗装のほか、下層路盤をはじめとする 8 工種についても同様に、現場密度の測定における試験基準を改定する（アスファルト舗装を含め全部で 9 工種が対象）。

- ・①下層路盤、②上層路盤、③アスファルト安定処理路盤、④セメント安定処理路盤、⑤アスファルト舗装、⑥路上再生路盤工、⑦路上表層再生工、⑧排水性舗装工・透水性舗装工、⑨プラント再生舗装工

測定個数について

合計面積と測定個数の具体例を以下に示す。「アスファルト舗装」と「透水性舗装」など異なる工種（品質管理基準上）が混在する工事では、それぞれの工種ごとに合計面積に応じた個数を測定する。なお、本例は舗装厚を管理する工事を対象としており、現場合わせで不陸整正を行う舗装補修工事等については、本例によらず測定を求めない。

1 100m2 未満の工事については測定を省略

● : 測定(省略)

事例 1

合計面積 計 90m2

①施工面積 90m2

事例 2

合計面積 計 90m2

①施工面積 18m2

②施工面積 18m2

③施工面積 18m2

④施工面積 18m2

⑤施工面積 18m2

2 100m2 以上、3000m2 以下の工事については 3 個（3 孔）測定

● : 測定

事例 3

合計面積 計 150m2

①施工面積 150m2

● ● ●

事例 4

合計面積 計 150m2

①施工面積 30m2 ●

②施工面積 30m2

③施工面積 30m2 ●

④施工面積 30m2

⑤施工面積 30m2 ●

事例 5

合計面積 計 2,500m2

①施工面積 2,500m2

● ● ●

事例 6

合計面積 計 2,500m2

①施工面積 500m2 ●

②施工面積 500m2

③施工面積 500m2 ●

④施工面積 500m2

⑤施工面積 500m2 ●

3 3,000m² を超える工事については、1,000m²につき1個（1孔）測定

事例7（4個（4孔）測定）

●：測定



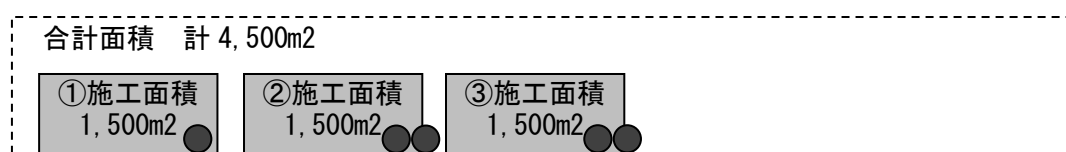
事例8（4個（4孔）測定）



事例9（5個（5孔）測定）



事例10（5個（5孔）測定）



4 「アスファルト舗装」と「透水性舗装」が混在する工事については、それぞれの工種ごとに合計面積に応じた個数を測定する

事例11（アスファルト舗装5個（5孔）測定、透水性舗装3個（3孔）測定）

